

群青 5月号

串木野高等学校図書館
令和6年5月10日発行

ゴールデンウィークが終わり、勉強や部活動など本格的に高校生活が始まりましたね。
日常の充実や活動の達成感、モチベーションを上げて楽しくすごせるよう応援しています。

図書館は、静かに勉強したり気分転換したりするときにぴったりです。
休み時間や放課後などぜひご利用くださいね。



薩摩藩英国留学生—長沢 鼎の伝記が発刊されました。
令和5年6月に製作検討委員会が立ち上げられ、県内の漫画家・シナリオライターにより製作されました。

串木野高校図書館にもあります。
よんでみてくださいね。



もっと詳しく知りたいときは、
こちらもおすすめてです。

4月7日 南日本新聞掲載

長沢鼎の漫画が完成

いちき串木野市は、米
国で「ワイン王」と呼ば
れた長沢鼎の生涯を振
り返る漫画「パロン
ナガサワ」を製作した。市内の
小中学校と特別支援学校
16校に配布した。
長沢は同市羽島から旅
立った薩摩藩英国留学生
の一人。米カリフォルニ
ア州でワイン事業を成功
させた。漫画は羽島中学

いちき串木野 市内学校に贈る



長沢鼎を紹介する漫画
「パロン ナガサワ—羽島
から世界へ—」はいちき
串木野市の薩摩藩英国留
学生記念館

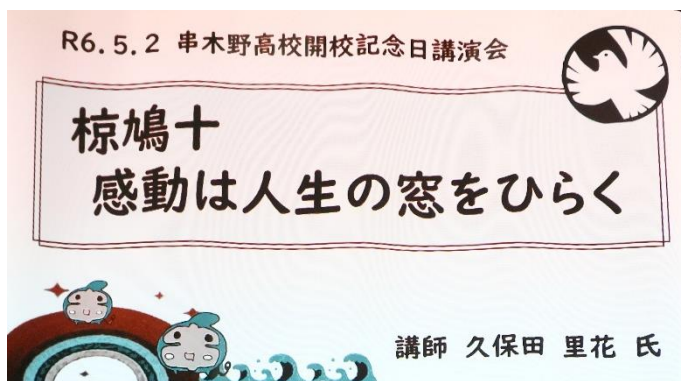
校の生徒が過去にタイム
スリップし、長沢の人柄
や功績を見守るストーリー
！。

B6判112ページ。B&
G財団（東京）の助成金
を活用し、県内の漫画家
やシナリオライターらの
製作活用検討委員会が携
わって3千冊を作った。
非売品。市立図書館や薩

摩藩英国留学生記念館で
読む。
3月25日に羽島中で贈
呈式があり、相良一洋教
育長が生徒に手渡した。
担当した市シティセー
ス課の下迫田樹一さん
(25)は「13歳で故郷を旅
立った長沢の物語が子ど
もたちの道しるべになれ
ば」と話した。
記念館来場者のうち、
希望する100人にプレ
ゼントする。6月30日ま
で。

(鶴園悠太)

5月2日 開校記念日講演会が開催されました！



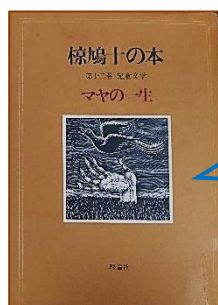
棕鳩十先生の功績や思い出話など興味深く楽しい講演会でした。校歌もますます好きになりました。

5月7日 南日本新聞掲載



久保田里花さん著

『棕鳩十 生きるすばらしさを動物物語に』
図書館にあります。



飢島の野犬の半生『王者の座』

棕鳩十の本第12巻
～『マヤの一生』にも
収録されています。

里花さんのお父様が
モデルとなった話
『マヤの一生』

